

すべてのひとに資産形成を。



重要情報シート（個別商品編）

2024年3月

au カブコム証券

1.商品等の内容 (当社は、お客様に上場有価証券の売買の取次ぎを行っています)	
金融商品の名称・種類	iFreeETF 米国国債 7-10 年（為替ヘッジなし）(2015)
組成会社（運用会社）	大和アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	主として、米国国債に投資し、残存期間の異なる国債の利息収入を確保するとともに、信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。運用にあたっては、残存期間が 7 年程度から 10 年程度までの米国国債に投資し、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組入れることをめざします。為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層※	中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方を想定しています。また、以下についてご理解いただける方に適しています。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ アクティブ運用型 ETF が、従来の ETF とは異なり、連動対象となる指標が存在しない商品であること</li><li>・ ファンドにおける積極運用の結果、基準価額がベンチマークや相場全体の変動からでは説明できない動きをする場合があること</li><li>・ 管理会社等により日々開示されるポートフォリオ情報は、前日の基準価額算出の基礎となった情報でしかなく、当該情報から算出される一口当たり推定純資産額（インディカティブ NAV）については、ETF の適正価格に常に一致するというわけではないこと</li></ul>
顧客利益最優先の運用会社のガバナンスの確保、プロダクトガバナンスの確保※	○経営・運用体制 資産運用のプロフェッショナルとして、フィデューシャリー・デューティーを果たすとともに、企業理念に掲げる「お客様第一主義」の精神のもと、日々の業務を遂行しております。大和証券グループの一翼を担う資産運用会社として、資産運用業務を行うにあたっては、運用会社または大和証券グループ各社とお客様との間で利益相反が生じる可能性があることに留意しております。このような状況を踏まえ、お客様の利益が不当に害されることを防止するため、利益相反の可能性のある取引等を管理する体制を整えております。 ○検証体制 プロダクトガバナンス会議においては、経営会議の分科会として、運用状況・商品性およびこれらの開示の適切性について検証結果の報告を行ない、対応方針を審議・決定したうえでその実行状況を確認します。加えて、その他運用会社が運用するプロダクトの品質の維持・向上に関する事項の審議・決定・報告を行ないます。

すべてのひとに資産形成を。



パッケージ化の有無	ありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

【以下のようなご不明点があればお問い合わせください】

- ① au カブコム証券が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
- ② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- ③ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。
- ④ この商品の運用手法によってあげられる収益（ベンチマーク（投資信託の運用にあたっての指標）を上回ること又は下回ること）に関して、組成会社から、当該収益に関する評価や市場環境の見通し、これらを踏まえた今後の展望等が示されているのであれば、その内容を説明してほしい。

2. リスクと運用実績 (本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)	
損失が生じるリスクの内容 ※ 右記に限定されるものではありません。	公社債の金利変動により価格の変動による影響を受けます。
	投資先などの破綻や財務状況の悪化による影響を受けます。
	為替相場の変動による影響を受けます。
	本商品の市場価格は、取引所における競争売買を通じ、需給を反映して決まるため、必ずしも基準価額と一致するものではありません。
〔参考〕 過去 1 年間の収益率 (市場価格ベース)	当ファンドは直近 1 年間の市場価格騰落率がないため、表示することはできません。(本資料作成時点)
〔参考〕 過去 5 年間の収益率 (市場価格ベース)	当ファンドは直近 1 年間の市場価格騰落率が 5 年分ないため、表示することはできません。(本資料作成時点)

※損失リスクの内容は、上場有価証券等書面の P2 に記載しています。

【以下のようなご不明点があればお問い合わせください】

- ⑤ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ⑥ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3. 費用 (本商品の購入又は保有には、費用が発生します)	
購入時に支払う費用	国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。

すべてのひとに資産形成を。



(販売手数料など)	
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	運用管理費用は、ファンドの純資産総額に対して年 0.11% (税抜年 0.10%) 以内 その他の費用・手数料等がファンドから支払われますが、これらの費用等は、事前に料率、上限額等を表示することができません。(本資料作成時点)
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。(本資料作成時点)

※購入時に支払う費用は、上場有価証券等書面 P6~8 に記載しています。

【以下のようなご不明点があればお問い合わせください】

- ⑦ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- ⑧ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4.換金・解約の条件 (本商品を換金する場合、一定の不利益を被ることがあります)
この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還等により上場廃止される場合があります。
この商品を売却する場合には、国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。

※本商品を換金する場合、一般的には、金融商品取引業者を通じて、取引所市場で売却することになります。

※売却時に支払う費用は、上場有価証券等書面 P6~8 に記載しています。

【以下のようなご不明点があればお問い合わせください】

- ⑨ 私がこの商品を換金するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5.当社の利益とお客様の利益が反する可能性
当社は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別の関係はありません。
当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されることはありません。

※利益相反の内容とその対処方針については、「[MUFG 利益相反管理方針](#)」をご参照ください。

【以下のようなご不明点があればお問い合わせください】

- ⑩ au カブコム証券が得る手数料が高い商品など、私の利益より au カブコム証券や au カブコム証券の利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益より au カブコム証券や au カブコム証券の利益を優先する可能性がある場合、au カブコム証券では、どのような対策をとっているのか。

すべてのひとに資産形成を。

## 6. 租税の概要

(NISA、iDeCo の対象か否かもご確認ください)

税金は表に記載の時期に適用されます。以下の表は、個人投資家の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税、復興特別所得税 及び地方税	配当所得として課税 収益分配金に対して 20.315%
売却時及び償還時	所得税、復興特別所得税 及び地方税	譲渡所得として課税 売却時及び償還時の差益 (譲渡益) に対して 20.315%

※本商品は、NISA（成長投資枠）の対象商品です。

## 7. その他参考情報

(契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください)

販売会社（当社）が作成した「上場有価証券等書面」	<a href="https://kabu.com/pdf/Gmkpdf/service/kin2501.pdf">https://kabu.com/pdf/Gmkpdf/service/kin2501.pdf</a> 
組成会社が作成した「目論見書」	<a href="https://www.daiwa-am.co.jp/etf/index.html">https://www.daiwa-am.co.jp/etf/index.html</a> 
組成会社（運用会社）が作成した「内国アクティブ運用型 ETF の商品特性及び管理会社の運用体制等に関する報告書（別紙）」（※）	<a href="https://www.jpx.co.jp/listing/co-search/index.html">https://www.jpx.co.jp/listing/co-search/index.html</a> 

※東証上場会社情報サービス→（証券コードで検索）→「基本情報」→「縦覧書類/PR 情報」→「その他」の欄において閲覧できます。

au カブコム証券へのお問い合わせは[こちら](#)から